

## 神戸女子大学社会福祉学研究 投稿規定

---

1. 投稿者は原則として本学専任教員並びに元専任教員とする。
2. 第1条の規定にかかわらず次項の条件を満たす者については共著者としてすることができる。
  - (1) 学外共同研究者で研究自体と論文の内容に責任のもてる者。(単なる補助者、部分的協力者を連名にしないこと)
  - (2) 研究委員会（以下委員会という）が3条ただし書きによる審査の結果認めた大学院文学研究科後期博士課程在籍中の学生。
3. 論文の掲載は委員会で決定する。当分の間、委員会委員が審査し、必要ある場合は委員以外に査読を依頼することがある。ただし、前条(2)の論文については2名の査読者の意見を聞き、採否を決定する。
4. 論文は総説、原著、資料とする。

総説はある主題に関する内外の研究状況の概観、問題点などを解説することを目的としたもの。

原著は独創的な研究で、問題提起、実験・調査・事例などに基づく研究成果と理論的考察をそなえた比較的まとまった論文であること。

資料とは研究成果として記録にとどめておく価値のあるもの。翻訳を含む。

なお、この区分は原則として投稿者自身が指定する。ただし、委員会と投稿者の協議により区分を変更することがある。
5. 論文は日本語（以下和文という）でも外国語（以下欧文という）でもよい。和文については特別の場合を除き、常用漢字、現代かなづかいを用いること。

欧文については英語、ドイツ語、フランス語以外の場合は和文のアブストラクトをつけること。
6. 校正は3校まで投稿者自身が行う。ただし、内容、組版および印刷日程に大きな影響を与えるような新たな加筆・変更を行わないこと。なお、遺漏がないことを確認できれば2校で責了としても差し支えない。
7. 別刷は掲載論文1編につき30部とする。それ以上は著者の負担とする。
8. 投稿論文の締切期限は2月末日とする。